

行政文書一部公開決定通知書

2 観名管第 148 号
令和 3 年 1 月 13 日

名古屋市民オンブズマン
代表 新海 聡 様

実施機関

名古屋市長 河村 たかし



令和2年12月3日付けで請求のあった行政文書の公開については、名古屋市情報公開条例第10条第 1項の規定により、次のとおりその一部を公開することと決定しましたので通知します。

行政文書の名称	名古屋城総合事務所職員が、名古屋城の件で令和2年9月8日に文化庁を訪問した際の復命書、持参資料		
行政文書の公開の日時及び場所	日 時	令和3年 / 月 15 日 午前 時 午後	
	場 所	市民情報センター（市役所西庁舎1階）	
行政文書の公開の方法	1 閲覧 ② 写しの交付 3 視聴		
行政文書の一部を公開しない理由	名古屋市情報公開条例第7条第1項第1号に該当 公開請求のあった行政文書に記載されている法人従業員氏名は、特定個人を識別できる情報のうち通常他人に知られたくないと認められるものであるため、非公開とします。		
備 考	<決定を行った所管課・公所> 観光文化交流局名古屋城総合事務所管理活用課 TEL 052-231-2483		
	※文化庁を訪問した際の復命書、持参資料に関する請求のうち、名古屋城総合事務所職員が令和2年9月8日以外の日に訪問した際の復命書、持参資料については、別途名古屋城総合事務所保存整備室から決定処分がされます。 市長及び特別秘書に係る請求部分に関しては、別途市長室秘書課及び市長特別秘書から決定処分がされます。		

- 1 この処分について不服があるときは、この処分があったことを知った日の翌日から起算して 3箇月以内に、名古屋市長に対して審査請求をすることができます。
- 2 この処分について不服があるときは、この処分があったことを知った日（審査請求

をしたときは、裁決書の送達を受けた日)の翌日から起算して 6箇月以内に、名古屋市を被告として(市長が被告の代表者となります。)処分の取消しの訴え(取消訴訟)を提起することができます。なお、6箇月以内であっても、処分又は裁決の日から 1 年を経過すると取消訴訟を提起することができなくなります。

注 行政文書の公開を受ける際には、この通知書を提示してください。

観光文化 交流局長	観光文化交流局 名古屋城総合事務所		
	所 長	保存整備室	
	(旅行者)	鈴木室長 	荒井主幹  荒川主幹 (旅行者)  森本主幹 
	管理活用課		名古屋城調査研究センター
	堀田課長 	上土井主幹 (旅行者)  服部係長 	村木副所長 

令和2年9月8日

復 命 書

名古屋市長 河村たかし 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所

所長 佐 治 独歩

主幹 荒 川 宏

主幹 上土井 崇之



下記のとおり出張しましたので、報告いたします。

記

- 1 日 時 令和2年9月8日（火）午前11時00分～11時45分
- 2 用 務 名古屋城金鯱の活用について
- 3 出張先 文化庁文化財第二課
- 4 対応者 別紙のとおり
- 5 内 容 別紙のとおり

文化庁事前協議記録

- 1 日 時 令和2年9月8日（火） 11時00分～11時45分
- 2 出張先 文化庁文化財第二課（東京都千代田区霞が関3-2-2）
- 3 対応者 文化財第二課 山下主任調査官
- 4 訪問者 観光文化交流局名古屋城総合事務所
佐治所長、荒川主幹、上土井主幹
教育委員会生涯学習部文化財保護室 片岡室長
- 5 内 容
 - 観光文化交流局名古屋城総合事務所より、イベントの趣旨、名古屋城の金鯱を降ろす方法及び手順、展示の場所及び方法を説明
 - 文化庁から、今後の進め方に際して、以下の助言をいただいた。
 - ・金の鯱を降ろす方法及び手順については、有識者会議に諮った結果を文化庁に報告した後、市許可で現状変更許可の手続きを行う。
 - ・名古屋城内の展示場所については、特別史跡未告示区域であるので、従前の手続きを経て、市で内容を確認する。
 - ・作業にあたっての養生等、軽微な仮設物の設置については、従前のとおり、市許可で現状変更許可の手続きを行う。

名古屋城・金の鯨の活用について

1 現 状

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、特別史跡名古屋城跡（以下「名古屋城」という）の入場者数は、前年同期比（４月～８月）で約９割減少している。これは国内外の多くの方に名古屋城の歴史・魅力に触れていただく機会の喪失であるとともに、名古屋城の今後の運営や将来にわたる史跡保存について危機感を持たざるを得ない状況である。加えて名古屋城周辺の施設からも入場者確保に向けた対策を求められている。

感染症拡大の社会状況を受けて民間事業者からも名古屋のシンボルである名古屋城を活用したまちの活性化策を求める声が届いていることを契機に、行政、民間事業者、経済団体等で連携し、名古屋城を核とした取り組みを検討している。

2 企画内容

名古屋城の来場者数は年間２００万人を超え、名古屋のシンボルであるとともに、長い歴史における市民の心の拠り所であり、まちづくりの礎である。

今回の企画では、名古屋城の金の鯨を地上に降ろし展示するとともに、名古屋城の歴史や魅力を紹介するパネル等も併せて設置し、名古屋城の歴史的価値への理解を深め、魅力を知っていただくことで文化財継承の担い手の涵養を図る。また、会場を名古屋城のほか、本市の賑わいの中心地である栄地区にも設けることで、名古屋城に来場されていない方に対しても史跡の歴史的価値や魅力を伝える機会を創出し、改めて来場いただいた際に、さらに理解を深めていただくことを考えており、史跡保存への訴求効果を高める。

本企画により、一人でも多くの方の史跡の価値、大切さへの理解を深め、愛着を育んでいただき、また、行政、民間事業者、経済団体等の連携をより深めることにより、社会全体が史跡の後世への確実な継承の担い手となっていくことに寄与するとともに、文化財を核とした取り組みを地域の維持発展につなげ、改めて文化財への投資を還元する好循環を生み出す。

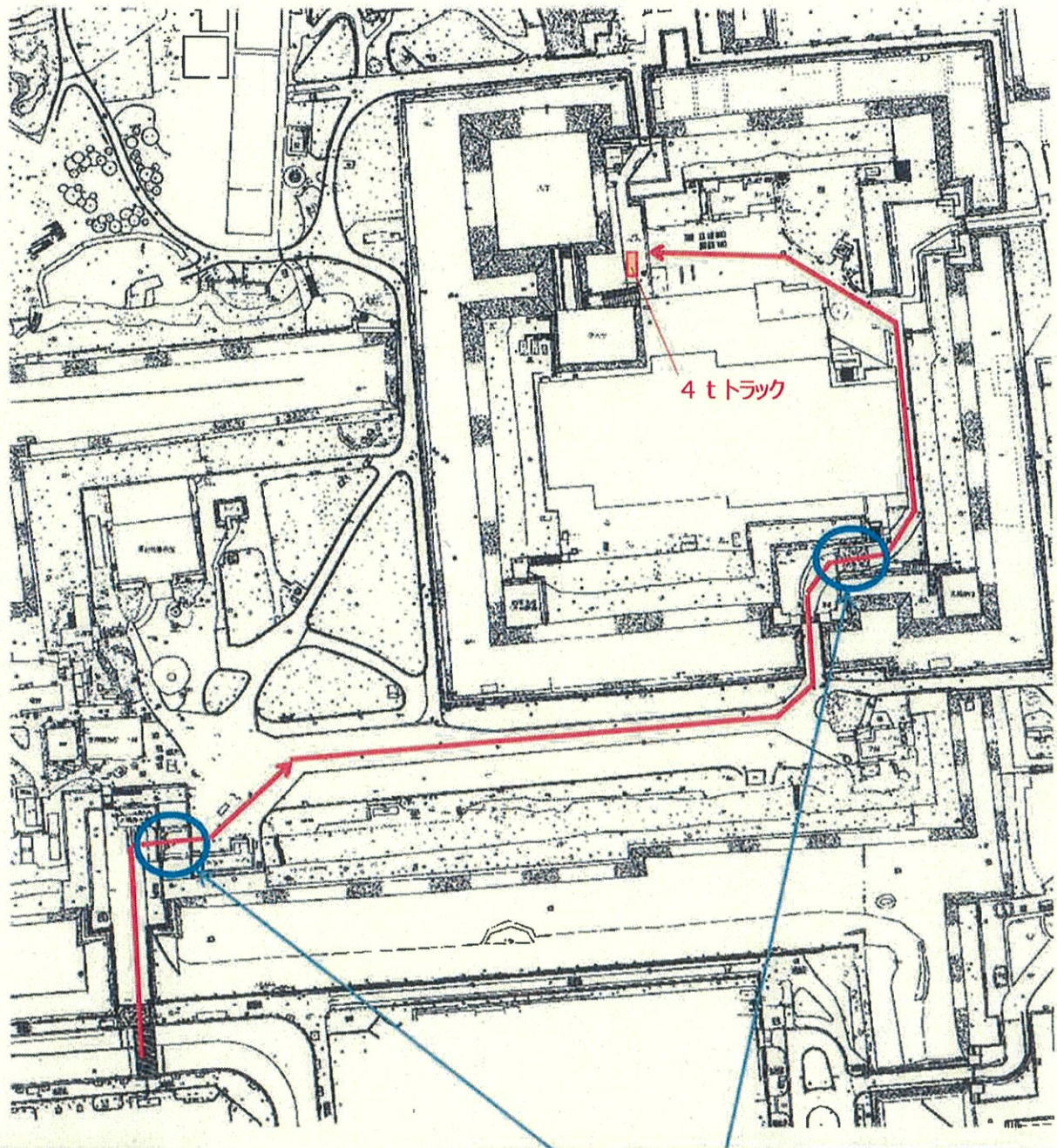
3 スケジュール（予定）

令和3年3月中旬	金の鯨 地上へ	（参考資料1）
3月下旬	展覧開始（名古屋城）	（参考資料2）
4月上旬	展覧会場移動（栄地区）	（参考資料3）
7月上旬	展覧終了	
7月中旬	金の鯨 天守へ	

※名古屋城会場において東京2020オリンピック聖火リレーのセレ
ブレーションにも設置を検討中

※名古屋城に縁のある木曽地域への巡回を検討中

●仮設足場等の搬入・搬出ルート



4 tトラック駐車・荷卸し場所

●正門、表二之門（桁形）の石畳の養生

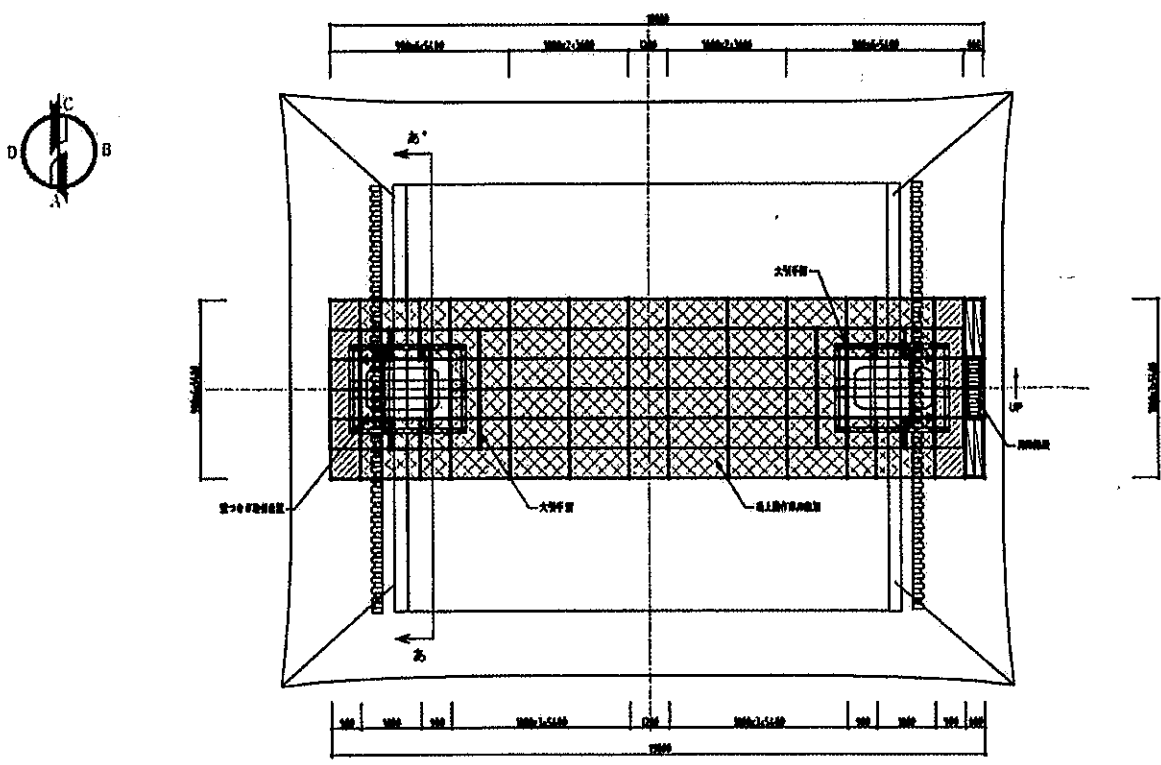
- ①ゴムマットを2箇所の横断側溝上に平行に敷設（正門）
- ②車両が通行する石畳上に2列にゴムマットを敷設
- ③ゴムマットの上にブラシキを敷設
- ④車両誘導員を配置する

【資材仕様】

- ・ゴムマット：1.0m×2.0m×20mm（重量48kg/1枚）
- ・ブラシキ：1.22m×2.44m×13mm（滑止め山付き）

参考資料1 足場の施工図

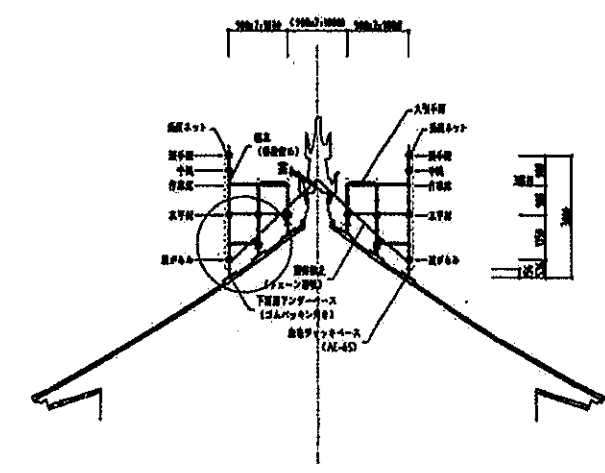
参考資料1-2



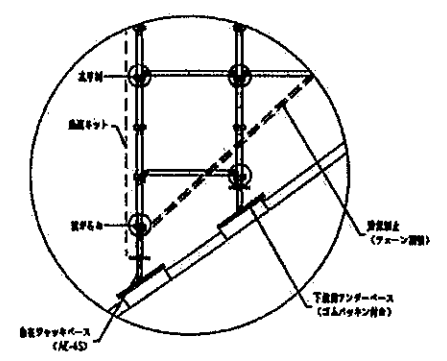
平面図 (S=1/100)

・・・下屋敷からの足場範囲
・・・大屋敷からの足場範囲

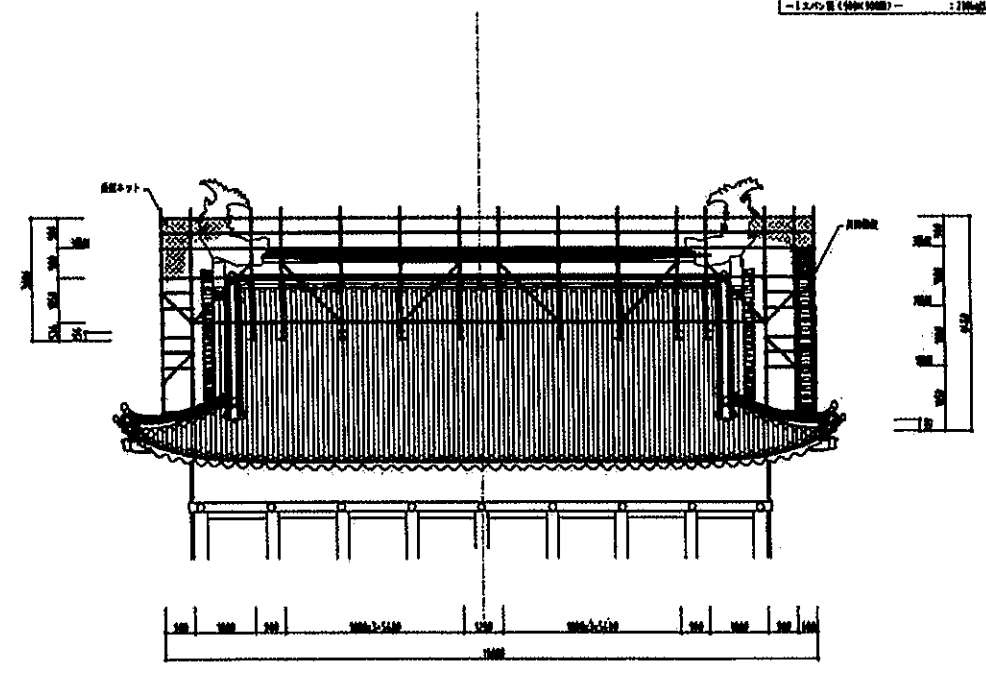
＜スチール足場の組立図＞
～1.5mの区（約100mm）～ 1/100以下



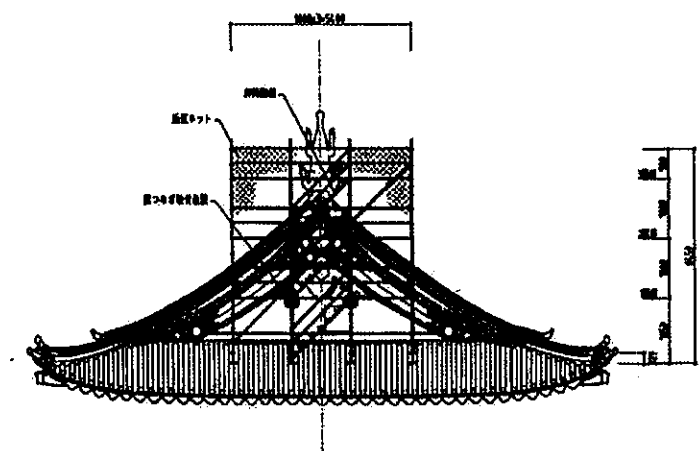
あ-あ 断面図 (S=1/100)



足元詳細図 (S=1/30)



A立面図 (S=1/100)

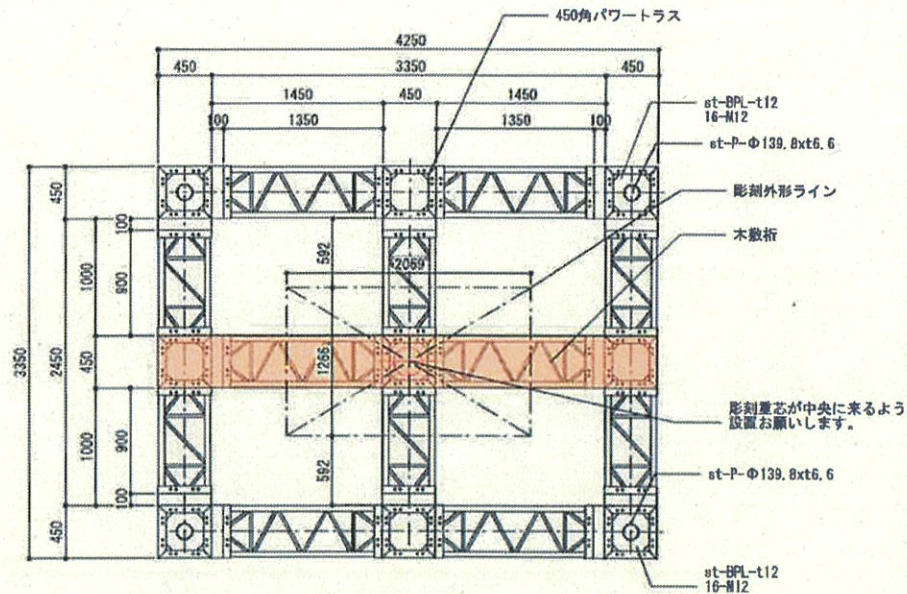


B立面図 (S=1/100)

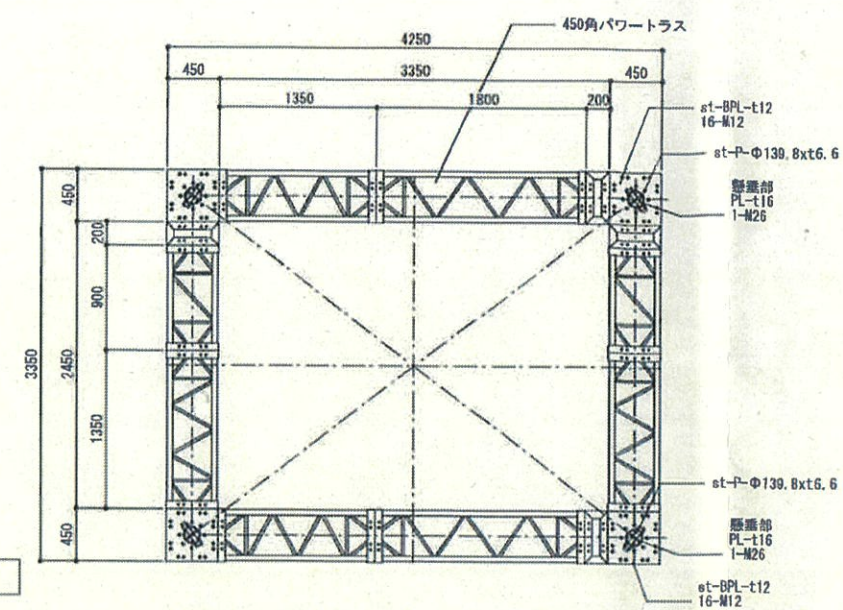
特記事項 2020/07/01 作成 2020/07/16 訂正	名古屋新金シャチ管製鋼業 外部足場計画 1/100 - 1/30	KRH & COMPANY, LIMITED 〒466-0212 愛知県名古屋市中区千代田4-2 TEL 052-66-0858 FAX 052-66-0571	図面 鋼土間足場(1号) 第17387号	No. 1
--	--	--	----------------------	----------

【検討条件】

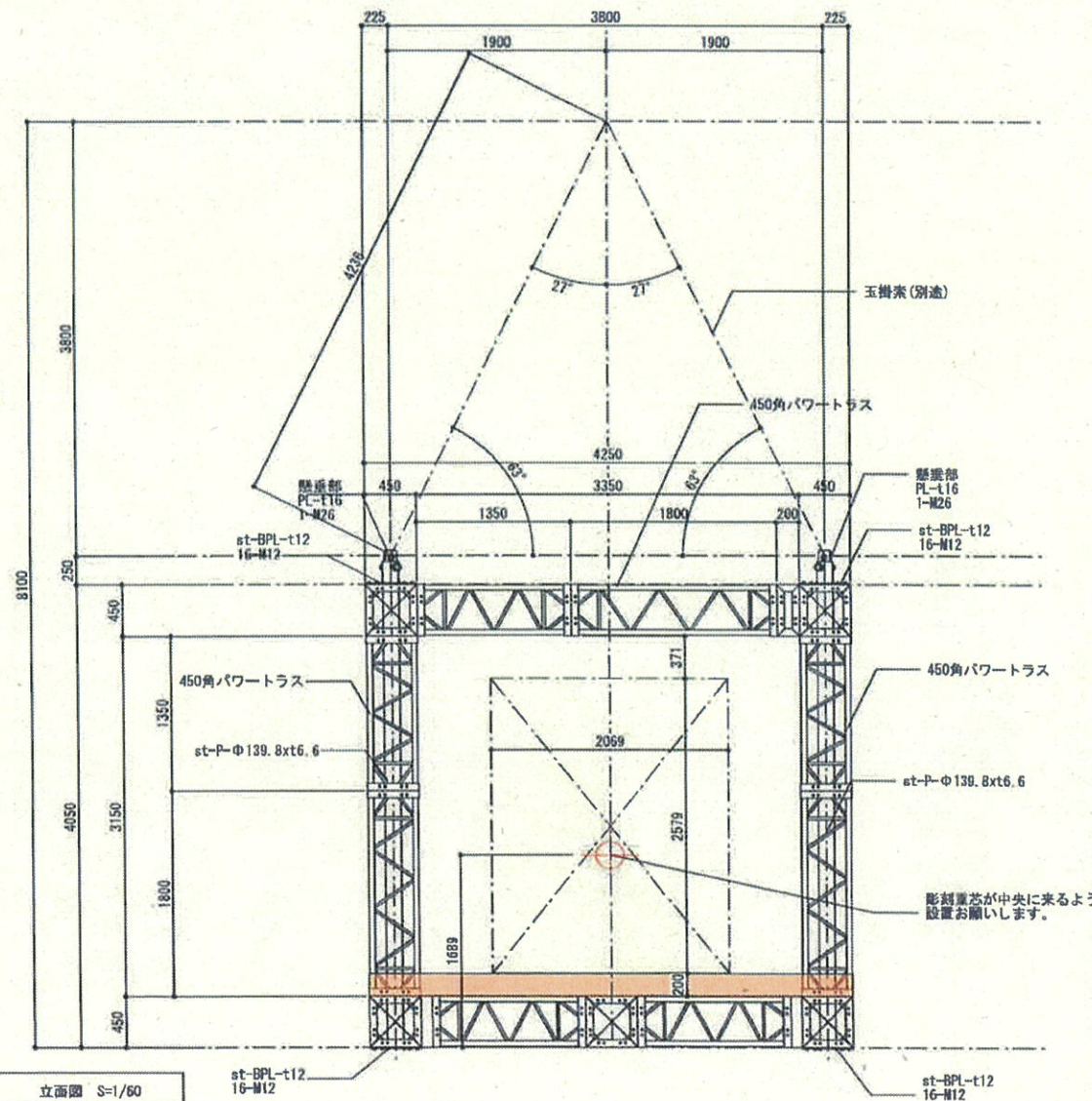
案件名	***
会期	***
会場	***
使用部材	柱 450角パワートラス 梁 450角パワートラス P-φ139.8x6.6
積載荷重	彫刻1.2t 他0.1t 計 1.3t
標準剪断力係数	地震力は無視する
風圧力	風圧力は無視する
衝撃力(鉛直方向)	1G(自重1.3t+衝撃1.7t)
衝撃力(水平方向)	1G(衝撃1.3t)
特記事項	



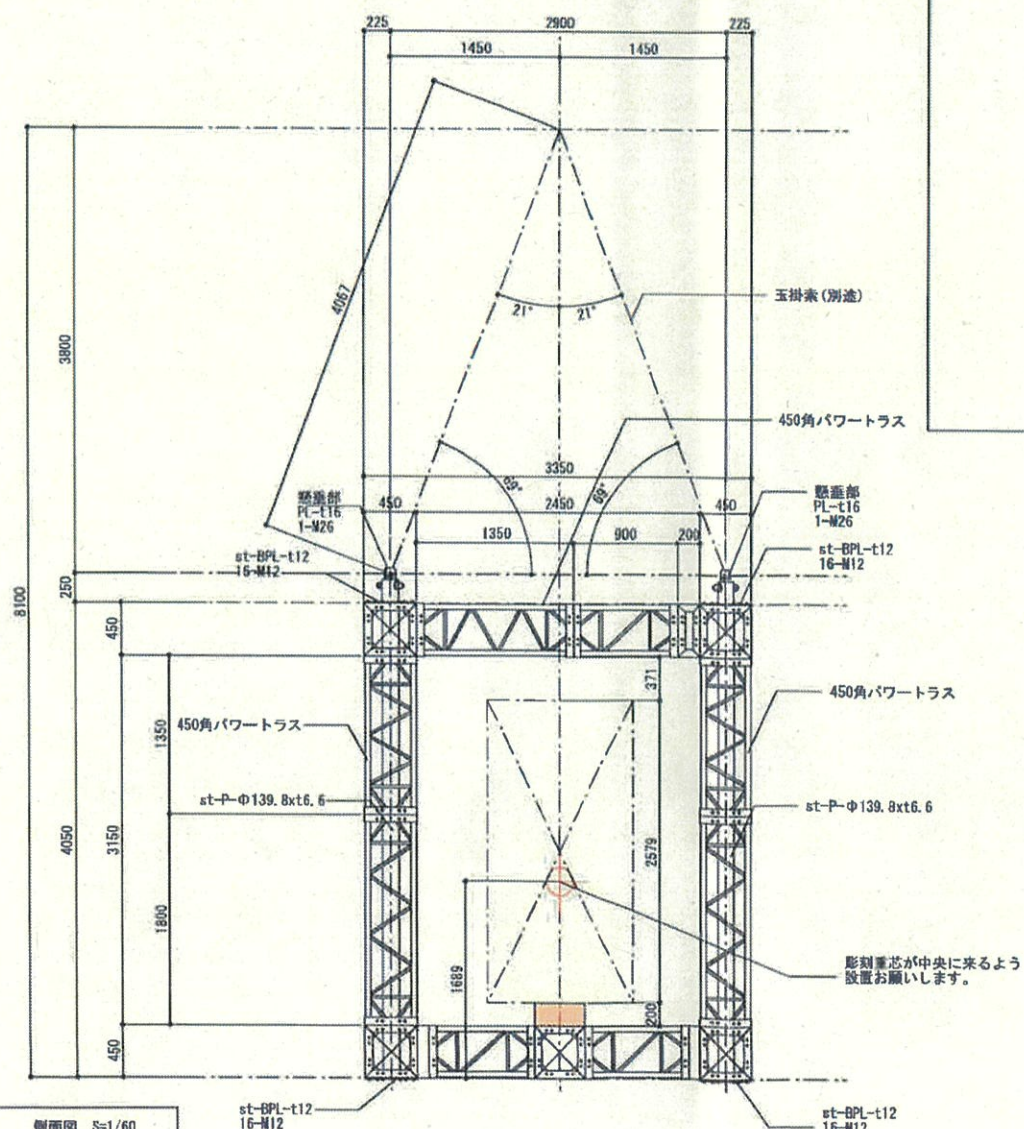
底面図 S=1/60



天面図 S=1/60



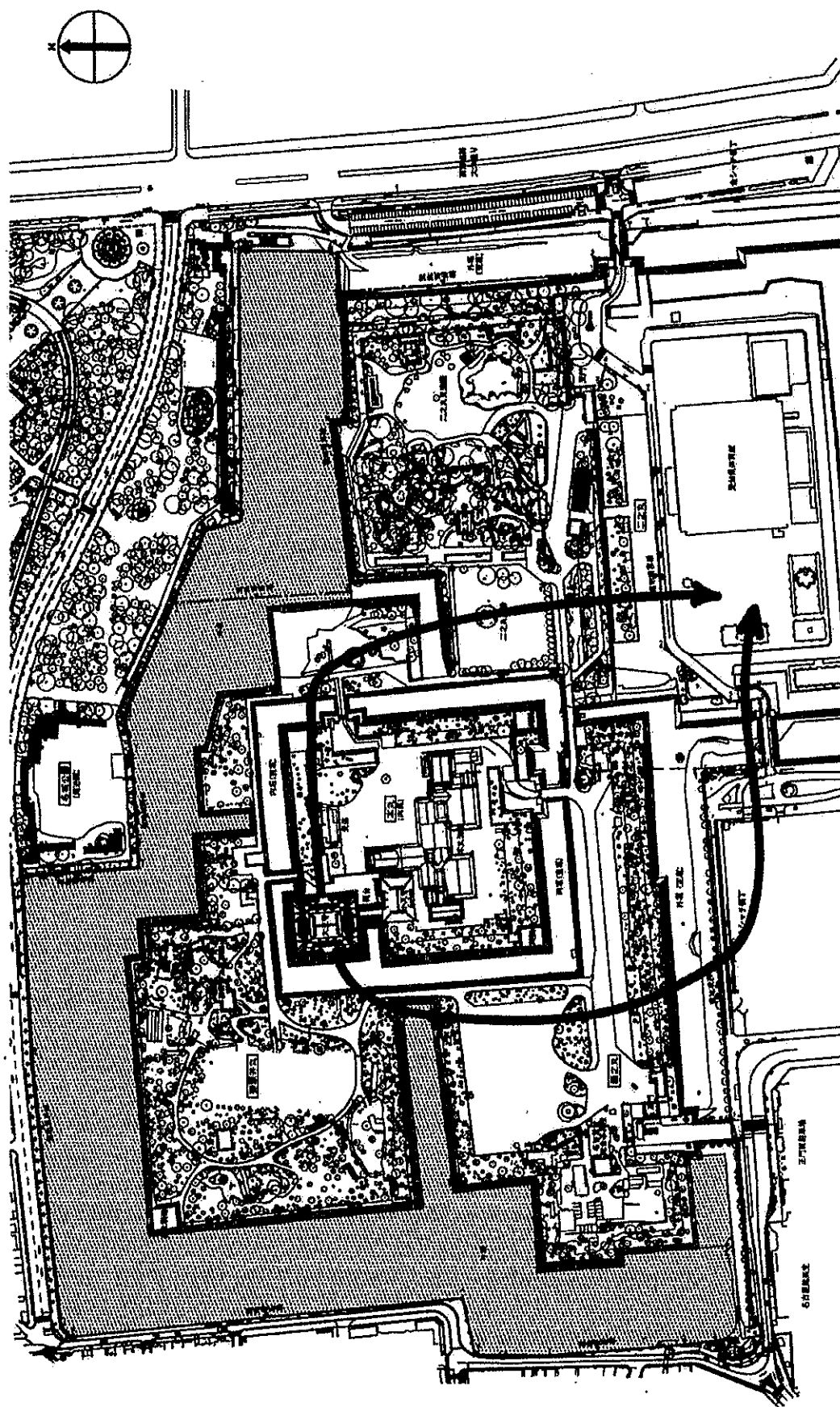
立面図 S=1/60



側面図 S=1/60

降りし場所

名古屋城の敷地内にある愛知県体育館亀甲広場にヘリコプターで運びます

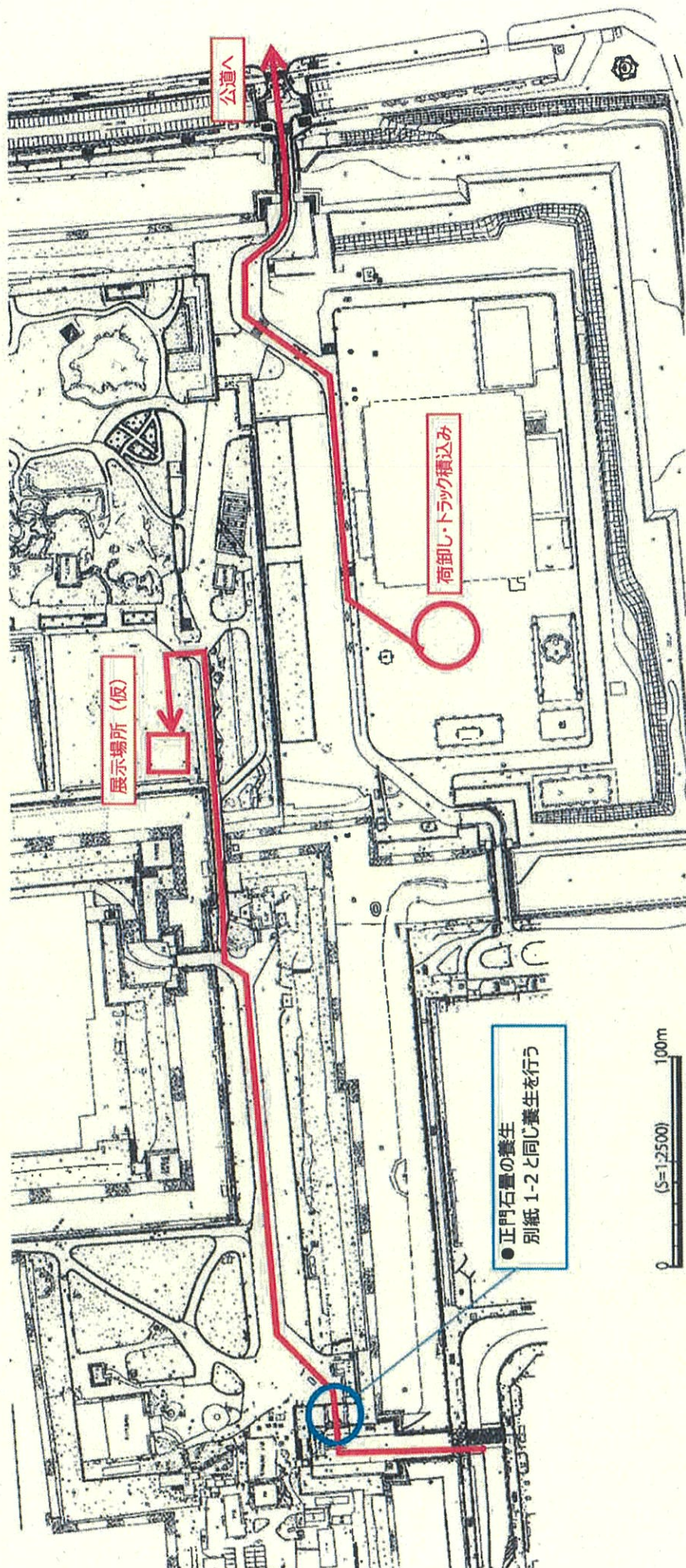


●金シャチ搬送ルート

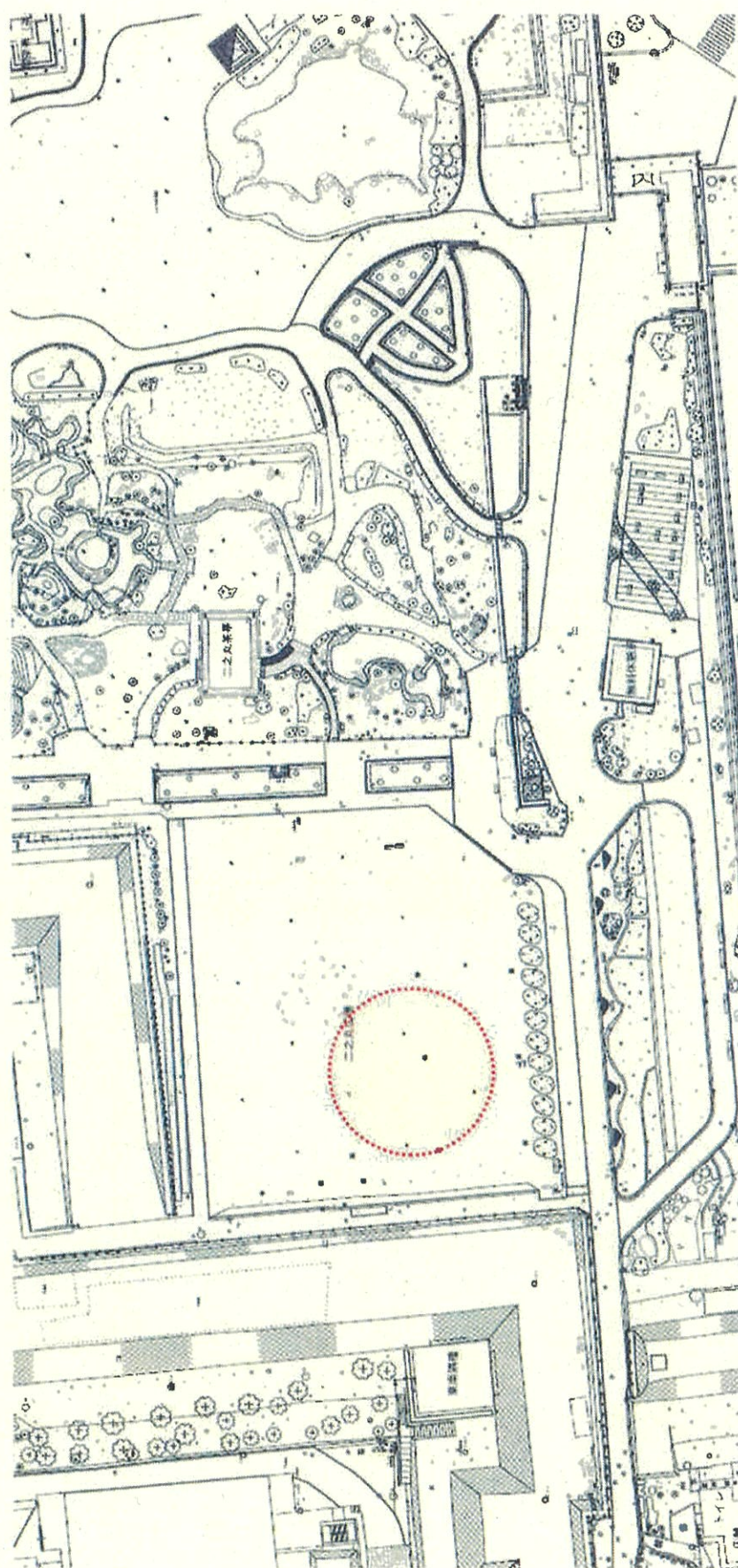
ヘリから荷卸し後、4 t ユニツク車に積み込み、以下のルートで搬送する

ヘリからの荷卸し場所 ⇒ 東側公道 ⇒ 正門 ⇒ 二之丸広場

※二之丸広場の詳細な展示場所は、別途「名古屋城春まつり」の申請資料による



名古屋城金シャチ特別展覧（仮称） 二之丸広場展示配置（予定）



（展示方針）

- ・展示場所は重量式の基礎（鉄骨等）を敷き並べ、基礎上に仮設足場を骨組みとした囲いを設置する。
- ・囲いの内部に金シャチを展示するとともに、名古屋城の歴史や魅力を紹介するパネル等を併せて設置する。
- ・コロナウィルス感染症の状況に応じて、城内入場者の制限、観覧者の相互距離など感染防止に努める。

名古屋城金シャチ特別展覧（仮称） 栄会場展覧イメージ

